
第2期鳥羽市まち・ひと・しごと創生総合戦略

(計画期間：令和2年度～令和6年度)

令和2～5年度を通じての評価

令和7年2月

鳥 羽 市

総合戦略の施策体系

基本目標（将来の姿）	基本的方向	施策（案）
『働く場の創出・人材育成』 1. 多様な働き方を認め合い、若者が地元で働き、女性や高齢者、障がい者等、誰もが役割を持ち、地域産業の担い手として活躍している	①魅力ある働く場の創出 ②異業種連携による産業振興 ③Society5.0 新技術の活用 ④新たなビジネスモデルの構築 ⑤企業との交流・連携 ⑥挑戦人口の創出	①プチ勤務、マッチング、無料職業紹介所運営 ②漁観連携、水福連携 ③大学・企業との連携、マリン IT、ICT・AI 活用による生産性向上 ④プチ勤務、サテライトオフィス、ワーケーション、テレワーク、副業・兼業 ⑤企業連携、企業版ふるさと納税、地域おこし企業人 ⑥高校・大学連携、起業支援、事業継承支援
『新しいひとの流れ・ひとの交流』 2. 個性輝く鳥羽の魅力が伝わり、国内外から人が訪れている	①企業との交流・連携（再掲） ②移住・定住の促進 ③観光魅力の向上 ④関係人口の創出	①企業連携、企業版ふるさと納税、地域おこし企業人（再掲） ②市営住宅、空き家対策、空き家バンクの活用 ③インバウンド誘致、地域の質向上 ④アーティスト・イン・レジデンス、サテライトオフィス、ワーケーション、テレワーク、政策観光、スポーツ合宿誘致、子どもの農山漁村体験
『誰もが活躍できるまち』 3. ライフステージに応じた希望が叶えられ、誰もが居場所や役割を持っている	①結婚・出産・子育て支援 ②教育・保育環境の充実 ③体験・経験型教育の推進 ④SDGs 誰ひとり取り残さないまちの実現	①子育て支援 ②中央公園整備リノベーション ③地域愛醸成、自己肯定感のある教育推進 ④とばびと活躍プロジェクト、水産研究所を核とした鳥羽うみ再生、生涯活躍のまち
『地域経営の視点に立ち、時代に合ったまちづくり、安心した暮らしの確保』 4. 鳥羽の風土に応じ、安心な暮らしが守られている	①防災対策の充実 ②スポーツ・健康まちづくり推進 ③コミュニティ形成・強化・充実 ④地域資源の高付加価値化、新しい価値の創生 ⑤環境に配慮した持続可能なまちづくり推進 ⑥Society5.0 新技術の活用（再掲）	①市民・来訪者の防災対策 ②中央公園リノベーション、介護保険の抑制 ③地域共生社会の実現、移動手段・公共交通対策、市民協働 ④地域資源のシェアリングリノベーション、空き家対策、公共施設見直し活用 ⑤循環型社会の実現（経営の視点、環境の視点） ⑥大学・企業との連携、マリン IT、ICT・AI 活用による生産性向上
『連携施策等』 5. 地域の実情に合わせた施策が取り組まれている	①国家戦略特区の推進 ②国土強靱化計画の策定・推進	①公共交通の充実 ②国土強靱化計画の策定・推進

基本目標に基づく施策

【基本目標1】働く場の創出・人材育成

多様な働き方を認め合い、若者が地元で働き、女性や高齢者、障がい者等、誰もが役割を持ち、地域産業の担い手として活躍している

■ 方針

本市は水産業や観光産業で発展してきたまちであり、本市の経済を活性化し地域活力を維持していくためには、これまで以上に地元の産業を支える担い手を確保することが大きな課題となっています。

本市で育った人達が地元の産業の担い手として働き続けたいと思えるよう、魅力的な働き方や職場づくりを支援するとともに、特に、本市の観光をPRする上で欠かせない水産物を中心とした“食の魅力”の充実に向けて、漁業と観光業が連携して産業振興に取り組みます。

■ 数値目標

目標指標	単位	基準値	実績値				目標値
			R2	R3	R4	R5	R6
市民が就労している割合 (市民税所得割納税義務者数÷生産年齢(15歳~64歳)人口) 【観光】	%	(H30)	R2	R3	R4	R5	R6
		65					70
			69	70	70	71	

■ 評価結果

進展度	判断理由
B	目標指標として掲げた市民の就労割合が順調に推移しているとともに、企業・大学等との連携取組により、教育研究機関との連携も進んでおり、また、漁業と観光業が連携して産業振興に取り組みが図られていることから、評価はBとする。 一方で、働く場の創出や人材の育成として見ると、新規就農者・就漁業者数や起業・事業継承等に関する実績は低く、また、人口減少に伴って相対的に就労割合が増加したと考えられることから、引き続き魅力ある働く場の創出に取り組む必要がある。

進展度：A-進んだ、B-ある程度進んだ、C-あまり進まなかった、D-進まなかった

■ 具体的な取り組み

1-1 魅力ある働く場の創出

地元子どもたちが本市の産業に魅力を感じ、地域の担い手として働きたいと思えるよう、地域の仕事に関する情報発信や地域の事業所における労働体験の機会を提供します。

また、働きやすい労働条件の検討や職場環境づくりにむけて、関係者が一体となって改善に取り組めるよう支援します。

【具体的な取り組み・施策】

プチ勤務	○地域のしごと魅力発信事業（観光商工課） フルタイムやパートよりも短い勤務時間での就労をプチ勤務として事業者にも業務を細分化してもらい、求人カタログを作成することで求職・求人を希望される方々に地域の雇用確保や多様な働き方等を提案していきます。 →R2～5年度実績 ・ 業務分解の実施やプチ勤務カタログの作成、人手不足の深刻化等により、宿泊業や小売業を中心に短時間や週3日勤務等の求人が増加傾向にあり、求職者の希望に応じた多様な働き方の紹介を行うことができた。
マッチング	○地域のしごと魅力発信事業（観光商工課） ハローワーク伊勢と連携し、無料職業紹介所で相談員が求職者の希望や特性を生かした勤務先をフルタイムやパート、プチ勤務等で紹介するほか、幅広い年齢層等（高齢者、子育て世代、地元高校生等）の雇用確保に努めます。 →R2～5年度実績 ・ 無料職業紹介所を訪れる求職者に対し、ハローワークと連携し、多様な求人情報の提供を行った。相談件数の増加により、令和5年度から週3に開設日を増やして対応した。 ・ 福祉分野との連携と利便性の向上を図るため、市役所西庁舎のほか、令和3年後半から令和4年度は月2回、令和5年度から月1回保健福祉センターひだまりで開設した。 ・ 令和4年8月から利用者の拡大を図るため、広報やフェイスブックによる情報発信を行った。 ○地域のしごと魅力発信事業（観光商工課） 職場見学ツアーを実施し、求職者の就労機会の確保と事業者の人手不足解消を図ります。 →R2～5年度実績 ・ 令和2年度はコロナ禍のため市内4事業所のPR動画を作成、令和3年・4年度は年2回4事業所の職場見学を実施し、令和3年度は12名、令和4年度は16名の学生や保護者が参加となった。令和5年度は6事業所の職場見学を行い35名の参加があった。また、4年度と5年度の参加者が各1名の見学先への就職に繋がった。

無料職業紹介所 運営	○地域のしごと魅力発信事業（観光商工課）※再掲 ハローワーク伊勢と連携し、無料職業紹介所で相談員が求職者の希望や特性を生かした勤務先をフルタイムやパート、プチ勤務等で紹介するほか、幅広い年齢層等（高齢者、子育て世代、地元高校生等）の雇用確保に努めます。 →R2～5年度実績 - 無料職業紹介所を訪れる求職者に対し、ハローワークと連携し、多様な求人情報の提供を行った。相談件数の増加により、令和5年度から週3に開設日を増やして対応した。 - 福祉分野との連携と利便性の向上を図るため、市役所西庁舎のほか、令和3年後半から令和4年度は月2回、令和5年度から月1回保健福祉センターひだまりで開設した。 - 令和4年8月から利用者の拡大を図るため、広報やフェイスブックによる情報発信を行った。
キャリア教育の 推進	○キャリア教育推進事業（学校教育課） 地域産業の施設見学や職場体験を通じて児童生徒が働くことの意義を理解し、本市の産業に魅力を感じ地域の担い手として働きたいと思えるような機会の創出を行います。 →R2～5年度実績 各校において、職場体験をはじめ、海洋教育に伴う各研究施設の見学や海について学ぶ機会を創出した。

目標指標	単位	基準値					目標値
			実績値				
無料職業紹介所に求職登録された 方のうち就職された人数 （計画期間の延べ人数）【観光】	人	(R1)	R2	R3	R4	R5	R6
		8					40
			9	18	30	10	

【具体的な取り組み・施策】

就農・就漁環境の 向上	○新規就農者・就漁者支援事業（農林水産課） 新規就農・就漁を促すため、新規就農・就漁希望者に対して、漁協や農協等とも連携を図りながら、フィールドワークや座学を通じて専門的な技術を体験したり、学んだりできる機会を提供していきます。また、漁具等の購入時にかかる一部助成や、労務環境の改善につなげていくための支援を行うことで、後継者育成のための一助としていきます。 →R2～5年度実績 - 海女漁業応援事業での新人海女さんへの海女道具購入に関する補助支援により、計22名の就漁に繋げた。 ○経営所得安定対策事業（農林水産課） 就農経営者の所得向上を促すため、水稻栽培農家を対象に作付面積に応じて交付金を交付し、経営の安定化を図ります。 →R2～5年度実績 - 経営所得安定対策の事業趣旨を農業者に周知するとともに、基礎となる水田台帳の管理調整を実施した。 ○農業振興地産地消促進事業（農林水産課） 地産地消による農業振興を推進するため、農作物の増産や通年栽培を支援
----------------	---

	するとともに、研修会などを通じて生産の意欲向上に努めます。 →R2～5年度実績 - 鳥羽志摩農業協議会及び松阪食肉公社へ負担金を支出し、地域の農業振興に努めた。令和5年度はサツマイモ品種「兼六」のウイルスフリー苗・ウイルスフリー種芋の生産に取り組むとともに、加茂小学校・弘道小学校での体験学習や、安楽島保育所において講話及び食材提供を行った。 ○多面的機能支払交付金事業（農林水産課） 農業が担う多面的機能を保全するため、農村地域の共同活動を通じた農地等の保全管理を行うとともに、地域の担い手の育成を図ります。 →R2～5年度実績 2地区の農業団体に対し交付金を支出し、農地周辺の出合い作業や景観形成に係る経費について支援を行った。 ○鳥獣害被害防止対策事業（農林水産課） 近年、深刻な被害の出ている鳥獣害被害の防止を図るため、鳥獣害の駆除や被害軽減策に対して補助金を交付し、被害の軽減を図ります。 →R2～5年度実績 - 有害鳥獣捕獲許可及び有害獣捕獲報償金の交付を通年で実施することにより、有害鳥獣の駆除を促進するとともに、鳥獣害防止に必要な防護柵用資材購入費に係る補助金を交付し、農業者支援に取り組んだ。					
--	---	--	--	--	--	--

目標指標	単位	基準値					目標値
			実績値				
新規就農者数 (計画期間の延べ人数) 【農水】	人	(H30) 0	R2 0	R3 0	R4 0	R5 0	R6 2
新規就漁者数 (計画期間の延べ人数) 【農水】	人	38	6	11	27	33	40

【具体的な取り組み・施策】

6次産業化の推進	○6次産業化推進事業（農林水産課） 6次産業化に取り組む生産者が視野を広げ、専門家等から事業を進めていく上で重要な助けとなるアドバイスを得られる環境を整えます。 また、6次産業化の担い手を育成するため、農林漁業者を中心に、商品開発や販路等の知識を身につける研修の機会や補助支援を行います。 →R2～5年度実績 6次産業化活動支援事業費補助金により、延べ4名の生産者を支援し、新商品の開発や販路の開拓等に努めた。 - セミナーを開催して全国の先進的な取り組みを知る機会を創出した。					
----------	--	--	--	--	--	--

目標指標	単位	基準値					目標値
			実績値				
農水産物直売所に出品される加工品数 【農水】	品	(H30) 301	R2 386	R3 421	R4 166	R5 170	R6 300

1-2 異業種連携による産業振興

水産物を中心とした食の魅力の充実に向けて、観光業と連携した水産物の高付加価値化やプロモーション及び学校給食等での活用を進め、漁業経営の安定化に取り組むとともに、漁業体験の機会創出等による漁業の魅力の発信や、漁業者の所得向上に向けた取り組みによる漁業従事者の確保につなげます。

【具体的な取り組み・施策】

漁観連携	○鳥羽ざかなのブランド化事業（農林水産課） 答志島トロさわらや、和具浦の塩蔵ワカメ等、鳥羽ならではの水産物のブランド戦略を進め、付加価値化による経済醸成を図ります。 →R2～5年度実績 ・ 答志島トロさわらは、三重ブランドに認定され、また地域団体商標にも登録されるなど、ブランド価値を高める取り組みを行った。また、令和5年度に全国ブランドサワラサミットを開催し、更なるブランド価値を高める取り組みを実施した。 ○アワビ資源増殖実証実験事業（農林水産課） 海女の主要漁獲物であるアワビ資源の増殖を目的とし、稚貝の中間育成事業に取り組めます。 →R2～5年度実績 ・ 漁協と連携して、種苗放流の効果を高めるため、アワビ種苗を30mmから50mmにして放流することを目指して中間育成し、各地区で放流した。 ○新たな食の魅力創造事業（農林水産課） 鳥羽の水産物をこれまでになかった視点と掛け合わせるにより、新たな食の魅力を創造していきます。 →R2～5年度実績 ・ 発酵プロジェクトとして、生産者と連携して、産物を活用した商品づくりに取り組んだ。 ○海藻文化情報発信事業（農林水産課） 鳥羽の豊富な海藻を首都圏にある拠点を活用して発信していくことで、より意識の高いプロユーザー等を対象とした鳥羽の海藻ファンを増やしていきます。 →R2～5年度実績 ・ 東京都世田谷区下北沢にある情報発信拠点「くらうま」と事業連携し、鳥羽の海藻を中心とした水産物を活用した各種イベント等を開催して、首都圏での海藻の情報発信に努めた。 ○漁業と観光の連携促進協議会の運営、進捗管理、評価、見直し事業（観光商工課） 漁業と観光の連携促進を図るため、漁業と観光の連携促進協議会を開催し、事業の進捗管理、評価、見直しを行います。 →R2～5年度実績 ・ 漁業と観光業の強みを活かした展開として平成30年度にブランド化した「答志島トロさわら」は毎年ブランド基準の見直しやプロモーションを行い、漁業者の所得向上や知名度のアップにつなげることができ、令和4年度、「三重ブランド」に認定された。また、令和5年度に全国サワラサミットを開催し、更なるブランド価値を高める取り組みを実施した。
-------------	---

	○情報発信事業（観光商工課） 観光客に鳥羽ざかなの素晴らしさや美味しさを伝えるため、積極的な情報発信を行います。 また、漁師や海女の日常的な食文化などにスポットを当て、食を取り巻く地域の歴史・文化等の魅力についても併せて情報発信を行い、鳥羽ファンの増加を図ります。 →R 2～5 年度実績 - 観光協会等と連携して鳥羽の海の豊かさの象徴である「海藻」に着目した取組みとして、令和3年度は「地域の観光資源の磨き上げを通じた域内連携促進に向けた実証事業」、令和4年度は「地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業」で海藻を使った商品づくりやモニターツアー造成、情報発信を行った。 ○体験プログラム造成販売促進事業（観光商工課） 令和元年5月に海女「海女(Ama)」に出逢えるまち鳥羽・志摩～素潜り漁に生きる女性たち」として文化庁の日本遺産の認定を受けました。日本遺産の認定を追い風に地域資源への理解を深めるとともに、海女文化をはじめとして鳥羽の魅力を五感で感じる体験の造成に取り組みます。 →R 2～5 年度実績 - 令和4年度に開催した海外自治体幹部交流協力セミナー2022 では、交流プログラムにおいて海女をテーマに鳥羽市立海博物館や海女小屋、離島、等を巡るコースで鳥羽を紹介した。 - 離島誘客を促進するため、島への旅の楽しみを紹介する動画の中で海女小屋体験の様子を紹介するなど、既存の海女文化を感じることができる既存プログラムの紹介を行った。 - 令和5年度にインバウンド受入対策事業で海女とエコクラフト体験のコンテンツを制作した。
--	---

目 標 指 標	単位	基準値					目 標 値
			実績値				
漁業収入（漁業組合員 1 人あたり） 【農水】	千円	(H30)	R2	R3	R4	R5	R6
		2, 168					2, 500
		2, 346	2, 105	2, 746	3, 134		
宿泊者数（観光統計資料） 【観光】	万人泊	174. 7					197. 0
		121. 1	106. 0	142. 7	148. 3		
推定消費額（観光統計資料） 【観光】	百万円	72, 253					81, 449
		48, 742	38, 288	59, 656	71, 949		

【具体的な取り組み・施策】

水福連携	○水産と福祉の連携事業（農林水産課） 市水産研究所の藻類種苗生産業務の一部を福祉事業所へ委託し、障害者等の社会参画機会の拡大を図ります。 →R 2～5 年度実績 水産研究所の業務において、その一部を福祉作業所に委託することにより、水産業への障害者等の参画の機会を創出した。
------	---

目標指標	単位	基準値	実績値					目標値
			R2	R3	R4	R5	R6	
藻類種苗生産業務の担い手人数 【農水】	人	(H30)						
		0						5
			1	1	1	1		

1-3 Society5.0 新技術の活用

第5期科学技術基本計画において国が目指すべき未来社会の姿として提唱された Society5.0 の実現を目指し、新技術や新しい時代の流れを力にし、経済発展と社会的問題の解決を両立していく新たな社会の実現に資する取り組みを推進します。

【具体的な取り組み・施策】

大学・企業との連携	○海洋アライアンス構築事業（農林水産課） 大学や研究機関、民間博物館等の関係者間により海洋アライアンスを構築し、持続可能な水産振興策を見出していきます。 →R2～5年度実績 - 令和4年度に三重大学、鳥羽商船高等専門学校、(株)鳥羽水族館、三重県水産研究所、水産研究・教育機構水産技術研究所、名古屋大学臨海実験所、ミキモトグループ（(株)ミキモト、(株)御木本真珠島、御木本製菓(株)）と伊勢志摩地域における海洋・水産に係わる教育活動、研究活動及び地域連携活動を推進し、これらの活動を通して地域社会の発展に寄与することを目的とした地域連携プラットフォーム「伊勢志摩海洋教育研究アライアンス」を構築した。 ○民間企業連携事業（観光商工課） 大学や民間企業の技術や情報発信ツールを活用した誘客事業を展開します。 →R2～5年度実績 - 令和4年7月には國學院大學との協定締結をきっかけに第二次鳥羽市観光基本計画に沿った調査を実施した。 - 令和4年度、鳥羽を大学生や大学等の学びのフィールドにしてもらうきっかけとしての補助メニューとして「大学ゼミ合補助金」「地域課題解決調査研究事業補助金」を新設した。
マリン IT	○海洋環境モニタリング事業（農林水産課） ICTを活用した観測ブイ等を設置することで、漁業者や関係者がリアルタイムに情報を入手できる仕組みを構築します。 →R2～5年度実績 海洋環境の変化等を漁業者がリアルタイムに確認できるよう、ICTを活用した漁業用観測機器を市内漁場への導入を支援した。
ICT・AI 活用による生産性向上	○中小企業支援事業（観光商工課） ICT・AIを活用した生産性を向上させるため、セミナーや意識啓発等の取組を支援します。 →R2～5年度実績 鳥羽商工会議所にサービス産業生産性向上支援事業補助金を交付し、中小企業の実産性向上に寄与した。

目標指標	単位	基準値					目標値	
			実績値					
海洋アライアンス構築事業数 (計画期間の延べ事業数) 【農水】	事業	(H30)	R2	R3	R4	R5	R6	
		0						5
			1	0	7	7		

1-4 新たなビジネスモデルの構築

多様な働き方を推進するため、新たな仕事のカタチについて調査・研究を重ね、サテライトオフィスやテレワークといった遠隔勤務や、副業・兼業やワーケーションの推進を図ります。

【具体的な取り組み・施策】

サテライトオフィス・テレワーク	○地域のしごと魅力発信事業（観光商工課） ブチ勤務のような多様な働き方を進めるにあたり、サテライトオフィスやテレワークといった遠隔勤務や副業・兼業の推進等、新たな仕事のあり方等について調査・研究を行います。 →R2～5年度実績 - 企業向けニーズ調査を行い、新たな働き方について現状把握に努めた。 ○ワーケーション（観光商工課） ワーケーション推進に繋がる観光地としての新たな魅力創出を図ります。 →R2～5年度実績 - 令和4年度と令和5年度の観光庁メニュー「地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業」において鳥羽市全域の地域計画が採択を受け、ワーケーション整備を含めた宿泊施設や観光施設等の高付加価値化に寄与した。						
-----------------	---	--	--	--	--	--	--

目標指標	単位	基準値					目標値	
			実績値					
テレワークという働き方の認知度 (市民アンケート) 【農水】	%	(H30)	R2	R3	R4	R5	R6	
		—						33
			—	—	—	—		

1-5 企業との交流・連携

企業等と連携して地域の課題に対応し、産業振興や市民サービスの向上、暮らしやすい地域づくりを目指します。また、企業版ふるさと納税や地域おこし企業人等を活用し、行政の経営資源であるヒト、モノ、カネの確保に努めます。

【具体的な取り組み・施策】

企業連携	○民間企業連携事業（観光商工課） 民間企業の情報発信ツールを活用した誘客事業を展開します。 →R2～5年度実績 令和4年度には離島誘客促進事業において、航空会社 Peach と連携を行い、鳥羽の島旅の動画を制作し、機内放送や YouTube チャンネルへの動画投稿を行った。						
------	--	--	--	--	--	--	--

	- 三重県観光連盟の「観光三重」において、SEO 対策記事や離島記事の掲載を行った。 ○企業版ふるさと納税（企画財政課） まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例制度を活用し、企業版ふるさと納税の促進を図ります。 →R 2～5 年度実績 - 令和 4 年度より、企業版ふるさと納税制度を活用した。令和 5 年度には、地域活性化活動を企画・展開する者からの提案制度を設けるなど活用を進め、令和 4・5 年度で延べ 11 社 4300 万円のご寄付をいただいた。 ○地域おこし企業人（企画財政課） 地域おこし企業人交流プログラムを活用し、三大都市圏に所在する企業から職員の派遣を受け入れ、地域活性化等に取り組みます。 →R 2～5 年度実績 - 地域活性化起業人として、令和 2～4 年度に生涯学習課に 1 名地域独自の魅力や価値の向上等につながる業務に対し助言を受けながら事業を進めた。また、令和 4 年度には企画財政課に 1 名を受入れ、地域共生社会の理念の浸透に向けた取り組みを進めた。
--	--

目標指標	単位	基準値	実績値				目標値
			R2	R3	R4	R5	R6
民間企業連携事業数 【観光】【農水】【企画】その他 該当する課で記入→合算	事業	(H30)					
		1					7
			1	3	10	11	

1-6 挑戦人口の創出

地域課題解決に向けてチャレンジする企業や個人の創出を図ります。

【具体的な取り組み・施策】

高校・大学連携	○地元高校・大学や高専との連携（観光商工課） 地域を学習のフィールドとして活躍する高校や大学、専門的な知識を有する高等専門学校等と連携して、地域が一体となった観光振興に取り組みます。 →R 2～5 年度実績 - 鳥羽高校の地域研究サークル「とばっこくらぶ」と連携し、フィールドワークなどの地域学習を支援した。 - 広報とばにおいて令和 2 年度、3 年度ととばっこくらぶのキャプテンのインタビュー記事や担任教諭の文部科学大臣優秀教職員表彰を受賞した結果を掲載し活躍する高校や教諭の取組の情報発信を行った。 - 令和 4 年度から新たにスタートした「大学ゼミ合宿支援補助金」「地域課題解決調査研究事業補助金」では、県内外から大学（延べ申請数 令和 4 年度 10 件、令和 5 年度 9 件）が訪れ、鳥羽を実践の学習のフィールドとして活動した。
---------	--

目標指標	単位	基準値					目標値
			実績値				
教育研究機関連携事業数 【観光】【農水】【企画】 その他、該当する課で記入→合算	事業	(H30)	R2	R3	R4	R5	R6
		3					9
			3	3	11	11	

【具体的な取り組み・施策】

起業支援	○起業育成支援事業（観光商工課） 創業支援として、起業を考えている人や起業して間もない人を対象に専門家によるセミナーを開催し、起業支援を行います。 また、県創業・再挑戦アシスト資金への保証料を補給することで起業への取組を支援していきます。 →R2～5年度実績 ・ 起業家育成セミナー 令和2年度 4人、令和3年度 2人 令和4年度 5人、令和5年度 7人 ・ 県創業・再挑戦アシスト資金保証料補給補助 令和2年度 4人、令和3年度 5人 令和4年度 6人、令和5年度 5人						
------	---	--	--	--	--	--	--

目標指標	単位	基準値					目標値
			実績値				
起業家セミナー参加者 （計画期間の延べ人数） 【農水】	人	(H30)	R2	R3	R4	R5	R6
		4					20
			4	2	5	7	

【具体的な取り組み・施策】

事業承継支援	○中小企業支援事業（観光商工課） 事業者が事業承継等に関する計画を策定し、課題に対して取り組んだ事業に補助金を交付し、事業承継等への取組を支援します。 →R2～5年度実績 ・ 令和2年度から補助制度を開始し、鳥羽商工会議所との調整に努めたが3年間申請がなく制度を見直しのため、令和4年度で終了した。 ・ 令和6年度から創業支援事業補助制度を新設し、事業承継により引継ぎを行い、新たに事業を開始するかたに対しても、創業を支援する体制を整えた。						
--------	--	--	--	--	--	--	--

目標指標	単位	基準値					目標値
			実績値				
事業承継補助金交付件数 （計画期間の延べ件数） 【農水】	件	(H30)	R2	R3	R4	R5	R6
		0					40
			0	0	0	—	

【基本目標 2】新しいひとの流れ・ひとの交流

個性輝く鳥羽の魅力が伝わり、国内外から人が訪れている

■ 方針

首都圏等を中心に、地方への移住やU・J・Iターンへの関心が世代を問わず高まっているなかで、本市においても暮らしの場として魅力あるまちづくりを進めるとともに、個々の移住希望者に応じた相談支援や、地域での受け入れ支援に努めることが必要です。

一方で、国内市場の減少とともに、日本人観光客数の減少が続く中、今後期待できる市場として外国人観光客の存在があります。鳥羽市は関西国際空港や中部国際空港から近く、また、東京―名古屋―大阪というゴールデンルートからも比較的近い距離にあるため、それらのエリアから外国人観光客を誘致するための戦略が必要です。

さらに、平成28年5月の伊勢志摩サミットの開催や、令和2年（2020）オリンピック・パラリンピック東京大会、観光庁をはじめとする国を挙げての外国人観光客の誘致促進に係る政策を踏まえ、鳥羽市としての外国人観光客の誘致促進が急務です。独自の魅力ある観光資源を活用した“鳥羽市らしい観光まちづくり”に取り組み、国内外からの集客をめざします。また、観光をきっかけにした人と人との交流から、暮らしの場としてのまちの魅力も伝える中で、鳥羽への移住そして定住人口の増加にもつなげていきます。

■ 数値目標

目標指標	単位	基準値	実績値				目標値
			R2	R3	R4	R5	
市外への転出超過数の改善 【企画財政】	人	(H30)	R2	R3	R4	R5	R6
		192					92
外国人観光客の入込客数 【観光】 (観光統計資料)	人	116,457	204	225	138	96	
			12,702	2,612	15,362	76,287	192,000

■ 評価結果

進展度	判断理由
C	市外転出超過数に大きく改善が見られ、目標値達成が見込まれるとともに、企業連携・協力も一定の取り組みが進められたものの、交流人口の面では、コロナ感染症の蔓延の影響を受けて、特に外国人観光客が大幅に減少した。 受け入れ環境整備やプロモーション等に取り組んだ結果、交流人口は回復傾向にあるものの、目標値には届いていない状況であるため、評価はCとする。

進展度：A-進んだ、B-ある程度進んだ、C-あまり進まなかった、D-進まなかった

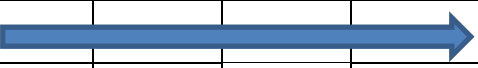
具体的な取り組み

2-1 企業との交流・連携（再掲）

企業等と連携して地域の課題に対応し、産業振興や市民サービスの向上、暮らしやすい地域づくりを目指します。また、企業版ふるさと納税や地域おこし企業人等を活用し、行政の経営資源であるヒト、モノ、カネの確保に努めます。

【具体的な取り組み・施策】

企業連携	○民間企業連携事業（観光商工課）※再掲 民間企業の情報発信ツールを活用した誘客事業を展開します。 →R2～5年度実績 - 令和4年度には離島誘客促進事業において、航空会社 Peach と連携を行い、鳥羽の島旅の動画を制作し、機内放送や YouTube チャンネルへの動画投稿を行った。 - 三重県観光連盟の「観光三重」において、SEO 対策記事や離島記事の掲載を行った。 ○企業版ふるさと納税（企画財政課）※再掲 まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例制度を活用し、企業版ふるさと納税の促進を図ります。 →R2～5年度実績 - 令和4年度より、企業版ふるさと納税制度を活用した。令和5年度には、地域活性化活動を企画・展開する者からの提案制度を設けるなど活用を進め、令和4・5年度で延べ11社4300万円のご寄付をいただいた。 ○地域おこし企業人（企画財政課）※再掲 地域おこし企業人交流プログラムを活用し、三大都市圏に所在する企業から職員の派遣を受け入れ、地域活性化等に取り組みます。 →R2～5年度実績 - 地域活性化起業人として、令和2～4年度に生涯学習課に1名地域独自の魅力や価値の向上等につながる業務に対し助言を受けながら事業を進めた。また、令和4年度には企画財政課に1名を受入れ、地域共生社会の理念の浸透に向けた取り組みを進めた。
------	---

目標指標	単位	基準値					目標値
			実績値				
民間企業連携事業数（再掲）	事業	(H30)	R2	R3	R4	R5	R6
		1					7
			1	3	10	11	

2-2 移住・定住の促進

移住相談のワンストップ窓口の設置や、住宅や市有地の購入に対する支援など、移住に要する経済的支援を行うとともに、市民の定住魅力の向上に取り組みます。

【具体的な取り組み・施策】

移住・定住の促進	○鳥羽への移住・定住応援事業（企画財政課） 都市部の移住希望者や市民に対して鳥羽での暮らしの魅力を訴求し、鳥羽への移住・定住を促進します。 →R2～5年度実績
----------	--

	- 令和 2～3 年度で住宅購入者に対する補助金として定住応援奨励金を 59 件受付けた。 - 令和 5 年度より結婚新生活支援補助金を開始し、2 組の申請があった。また 2 組とも妻の方が市外からの転入となった。 ○移住相談支援事業（企画財政課） 移住窓口を設置し、鳥羽への移住・定住の相談を行うとともに、U I J ターンを勧め、鳥羽での働き方や生活を紹介し積極的に情報発信を行います。 →R 2 ～ 5 年度実績 - 令和 4 年度に鳥羽市移住コーディネーターを委嘱し、市役所の窓口のほかに移住相談所を新たに開設した。 - 移住希望者の争奪戦が行われているため、新たな移住 PR の方法として、ラジオ番組を使ったプロモーションを実施した。 ○伊勢志摩移住プロモーション事業（企画財政課） 伊勢志摩地域で連携し情報発信を行うことにより、移住相談会等において移住希望者の選択肢を増やし、より多くの移住希望者に鳥羽市を移住候補地に選択してもらい、鳥羽への移住を促進します。 →R 2 ～ 5 年度実績 - 令和 2 ～ 3 年にオンライン、令和 4 ～ 5 年度には、東京のふるさと帰郷支援センターで伊勢志摩定住自立圏（3 市 5 町）が参加した移住セミナーを開催した。 - 令和 5 年度には、三重県が主催する名古屋・大阪で開催した移住フェアに伊勢志摩地域で参加した。
--	--

目標指標	単位	基準値	実績値				目標値
			R2	R3	R4	R5	R6
市外への転出超過数の改善 （再掲）【企画財政】	人	(H30)					
		192					92
			204	223	138	96	

【具体的な取り組み・施策】

市営住宅	○移住定住促進住宅維持管理事業（建設課） 市営住宅に整備した移住定住促進住宅を移住希望者が住宅を確保するまでの間、一時的に入居できるように維持管理を行います。また、入居者ニーズにあった住宅の提供が出来るよう、模様替え（D I Y）の許可など、市営住宅を利用しやすくするような仕組みづくりに取り組みます。 →R 2 ～ 5 年度実績 8 人の移住希望者に対し、一定期間貸し出した結果、4 人の方が市内に定住することとなった。 - D I Y 補助金を創設し、入居者が利用しやすい仕組みづくりに取り組んだものの、申請はなかった。
------	--

目標指標	単位	基準値	実績値				目標値
			R2	R3	R4	R5	R6
安楽島団地、安楽島第二団地 空き家戸数 【建設】	戸	(H30)					
		57					24
			76	77	78	80	

【具体的な取り組み・施策】

空き家対策	○空き家利活用事業（建設課） 空き家対策の方針を定める「鳥羽市空き家対策計画」を策定して国の交付金などを活用し、空き家の利活用を図っていきます。 →R2～5年度実績 令和3年度に「鳥羽市空き家等対策計画」を策定し、空き家の利活用に係る補助金を創設し、不動産会社向けのチラシを作成するなど周知を図ったが、申請はなかった。						
空き家バンクの活用	○空き家バンク登録促進事業（建設課） 新たに策定する「鳥羽市空き家対策計画」に基づき、空き家バンクへの登録促進を行います。 →R2～5年度実績 令和4年度より空き家バンク運営業務を委託し、ホームページの作成や空き家の掘り起こしを行ったほか、所有者に対し、空き家バンク制度のチラシを送付した結果、新規に32件の登録があった。						
目標指標	単位	基準値	実績値				目標値
			R2	R3	R4	R5	R6
空き家バンク登録件数 【建設】	件	(H30)					
		15					20
			8	6	20	12	

2-3 観光魅力の向上

鳥羽市には、アミューズメントとしての観光施設だけでなく、離島や海女、海産物による食の魅力や芸術など、本市ならではの観光資源が多数あります。それらを活用した多様な体験機会を提供し、それぞれの観光地をネットワーク化するとともに、積極的な観光情報の発信や市民によるおもてなしを進め、鳥羽市観光における滞在時間の拡大に取り組めます。

【具体的な取り組み・施策】

インバウンド誘致	○インバウンド受入環境整備事業（観光商工課） 外国人観光客の満足度向上を図るため、事業者向けのツール作成や多言語表記の充実を含め、外国人観光客の受入環境整備に係る支援等を行います。 →R2～5年度実績 - インバウンド対策支援事業において、外国人を想定した体験プログラムの造成やランディングページの作成、個別企業訪問や外国人観光客受け入れアドバイス、外国人受け入れ対応ツールの作成を行うなど体制の整備や支援を行った。 ○二次交通充実対策事業（観光商工課） 外国人観光客の満足度向上を図るため、関係機関と連携し、バスや市営定期船等の二次交通の利便性向上を検討します。 →R2～5年度実績 - バスについては、令和4年度に人気キャラクターのデザインを施したラッピングやオリジナル周遊切符の作成を行い、利用促進や周遊促進を行った。 - 市営定期船については、市営定期船を利用した船旅の魅力を伝えるた						
----------	---	--	--	--	--	--	--

	め、動画やインターネット記事での利用方法の周知と同時に、船に乗ること自体が鳥羽ならではの体験であるという発信を行った。 ○インバウンド動向調査事業（観光商工課） 今後のインバウンド対策の施策に繋げるため、外国人観光客の入込客数や宿泊者数等の統計調査の充実を図ります。 →R2～5年度実績 - 年間統計において、外国人観光客の施設別入込客数や宿泊者数を集計し、公表を行った。 ○インバウンド対策事業（観光商工課） 外国人観光客の誘致促進のため、海外への情報発信や旅行博でのセールス活動を行う人材を雇用し、誘客促進を図ります。 →R2～5年度実績 - 外国人スタッフを専任職員として配置し、受入体制強化のための企業支援としてモニターツアーやランディングページの作成などのインナープロモーションを実施した。また、ファミトリップの受入や商談会を行った。 ○海外情報発信事業（観光商工課） 海外における鳥羽市の認知度及び誘客の向上を図るため、フランスの都市との連携し、PR活動を行います。 →R2～5年度実績 - 令和3年度から、フランス人の国際交流員を配置し、在京都フランス総領事館が入るアンスティチュ・フランセ関西―京都において屋外イベントの参加や海女の写真展を開催するなどコロナ禍ながらも関係性づくりと情報発信に努めた。 - 令和4年11月にはフランスとベルギーの自治体幹部職員を日本へ招へいし、海外自治体幹部交流協力セミナー2022を鳥羽市において開催することにより自治体間のネットワークを構築した。 - 令和5年度は10月にフランス・パリで伊勢志摩3市長によるトップセールスを実施した。また、3月にフランス・セットで開催された地中海沿岸最大の海洋祭りのエスカル・ア・セットに参加し、海の文化に関する鳥羽市のプロモーションを実施した。 ○クルーズ船誘致受入促進（観光商工課） 外国人観光客の誘致促進及び観光消費額向上のため、大型客船の誘致及び受入体制の充実を図ります。 →R2～5年度実績 - 新型コロナウイルス感染症の拡大により、令和2・3年度は外国船籍の寄港は無かったことから、日本国籍の客船の寄港対応を行った。 - 令和5年3月9日には約3年ぶりに外国船籍ダイヤモンドプリンセスが寄港した。 - 令和5年度は外国船が4回、日本船が4回寄港した。
--	---

目標指標	単位	基準値	実績値				目標値
			R2	R3	R4	R5	R6
外国人観光客の入込客数 (観光統計資料) (再掲)【観光】	人	(H30)	R2	R3	R4	R5	R6
		116,457					192,000
			12,702	2,612	15,362	76,287	

【具体的な取り組み・施策】

地域の質向上	○鳥羽うみ文化創出会議の運営及び事業の推進（観光商工課） 歴史や自然、食文化など鳥羽の海との関係性や鳥羽らしさの核を「鳥羽うみ文化」として表現しており、その魅力について市民をはじめ観光客への理解促進のため、資源認定の協議と「鳥羽うみ文化」を伝えるための情報発信等を行います。 →R2～5年度実績 ・ 鳥羽うみ文化については、日頃の SNS による発信や広告宣伝戦略委員会によるプロモーションによって、海女文化や漁村文化、歴史文化の発信を行った。 ○バリアフリー観光推進事業（観光商工課） 体が不自由な方や高齢者及びベビーカー利用を伴う来訪者や外国人観光客に対して、より安全で安心して観光を楽しんでいただけるような観光地を目指して、駅前のボランティアガイドや車いすやベビーカー等の貸出による観光客サポート、ユニバーサル観光意識向上事業に取り組みます。 →R2～5年度実績 ・ 繁忙期等に行う鳥羽駅ガイドボランティアや無料レンタル車いすによる観光客のサポート事業、ユニバーサル観光の意識向上を目的とした研修会の開催を行った。 ・ バリアフリー観光情報を掲載したパンフレット「ばりふりっと鳥羽」を発行した。 ・ 宿泊者数及び観光施策等にバリアフリー改修費の一部を補助した。
鳥羽の魅力ある玄関づくり	○JR 鳥羽駅前広場整備事業（建設課） 鳥羽の玄関口である JR 鳥羽駅において、観光客の安全性及び利便性を高めるため、駅前広場について、バリアフリー化を行います。 →R2～5年度実績 ・ 検討は行ったものの、実現には至らなかった。
観光プロモーション戦略	○旅行・商品プロモーション事業（観光商工課） 鳥羽市の周知と誘客を促進するため、プロモーション活動を行います。 →R2～5年度実績 ・ 観光事業者などの委員で組織する広告宣伝戦略委員会において創意工夫を凝らした情報発信事業を継続的に実施した。 ・ ツーリズム EXPO ジャパン三重県フェアなどに参加し、プロモーション活動を実施した。 ○エコツーリズム推進事業（観光商工課） 資源の保護と活用を目的としたエコツーリズムの推進を図るため、市内各種団体等と連携した啓発活動等に取り組みます。 →R2～5年度実績 ・ 鳥羽の豊かな自然資源の保護と活用、エコツーリズムの普及・定着を図る鳥羽市エコツーリズム推進協議会において、研修会の実施やツーリズム EXPO での情報発信や商談会を実施した。

	○旅行商品造成事業（観光商工課） 海女文化をはじめとした鳥羽ならではの地域資源を活かした旅行商品の造成を図ります。 →R2～5年度実績 - 観光協会等と連携して鳥羽の海の豊かさの象徴である「海藻」に着目した取組みとして、令和3年度は「地域の観光資源の磨き上げを通じた域内連携促進に向けた実証事業」、令和4年度は「地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業」で海藻を使った商品づくりやモニターツアー造成、情報発信を行った。 ○観光統計調査（観光商工課） 今後の観光振興への効果的な利用を目的として、観光入込数や宿泊者数の統計調査の実施、観光業が他産業へ与える経済波及効果の調査等を実施します。 →R2～5年度実績 - ゴールデンウィークやお盆、年末年始など繁忙期の期別統計や1年間の観光施設入込客数や宿泊客数をとりまとめ、年間統計として発表した。 ○観光魅力アップ事業（観光商工課） 旅館組合や民宿組合が実施する宿泊客の誘致を目的とした観光魅力アップ事業に対する支援を行います。 →R2～5年度実績 - 令和2年 2件、令和3年 4件、令和4年 5件、令和5年 5件の旅館組合等の事業に対して支援した。 ○伊勢志摩広域観光推進事業（観光商工課）（伊勢志摩観光コンベンション機構） 伊勢志摩地域における広域観光に取り組むため、伊勢志摩観光コンベンション機構が実施する広域観光推進事業への事業参画を行います。 →R2～5年度実績 - 伊勢志摩地域の広域エリアを強みに、国内誘客プロモーション事業や令和4年度には大型の伊勢志摩地域としてのキャンペーン「伊勢志摩ジャンボ!!」を開催した。 - 伊勢志摩地域広域での観光振興を行っている伊勢志摩観光コンベンション機構と近鉄グループホールディングス株式会社が連携し、伊勢志摩地域全体の周遊促進を目的にデジタルサービスを活用した新しい観光サービス「ぶらりすと」が開始した。
--	--

目標指標	単位	基準値					目標値	
			実績値					
宿泊者数（観光統計資料） （再掲） 【観光】	万人泊	(H30)	R2	R3	R4	R5	R6	
		174.7						197.0
			121.1	106.0	142.7	148.3		
推定消費額（観光統計資料） （再掲）【観光】	百万円	72,253						81,449
			48,742	38,288	59,656	71,949		

2-4 関係人口の創出

本市に対し多様な関心を持ち多様に関わる人を関係人口と称し、様々な関わり度合である関係人口を創出するとともに、その関わり度合を高めるため、地域のファン、地域の課題解決に関わってもらえる地域外の方々とのネットワークを広げる取り組みを進めます。[①地域の特産品の購入⇒②地域への寄付⇒③頻繁な訪問⇒④地域でのボランティア活動⇒⑤準定住（二地域居住など）⇒⑥移住・定住]

【具体的な取り組み・施策】

関係人口創出	○ふるさと鳥羽関係人口創出事業（企画財政課） 都市部での交流会、地域での体験ツアーや地域イベントを通じ鳥羽ファンを創出します。 →R2～5年度実績 - 令和3年度にオンラインコミュニティ「とぼり隊」を立ち上げ、地域や関係人口同士の関わり場を整えた。 - 令和4年度には、学生等をターゲットとした短期就労とバケーションを掛け合わせたワーキングホリデーのプランを掲載したLPサイトの作成を行った。						
目標指標	単位	基準値	実績値				目標値
鳥羽ファンクラブ会員数 （計画期間の延べ人数） 【企画財政】	人	(H30)	R2	R3	R4	R5	R6
		0					3,000
			0	1,123	1,171	1,209	

【具体的な取り組み・施策】

アーティスト・イン・レジデンス	○芸術を活かした観光振興事業（観光商工課） 鳥羽が持つ地域資源をアートの観点から地域の魅力を創出します。キュレーターを委嘱した市内全体のアート事業の包括的な総合プロデュースや各種アート展示及びワークショップを開催します。 →R2～5年度実績 - 市内外の展示場所において、美術系大学や市内のアーティストなどと連携し、鳥羽をテーマとした展示会を開催した。 - 鳥羽クラフト展ではアーティストと連携しワークショップを実施するなど、気軽にアートに親しみ鳥羽の魅力を表現する機会づくりを行った。 ○芸術を活かした観光振興情報発信事業（観光商工課） 市民や観光客が芸術に親しみ、新しい鳥羽観光の魅力として根付かせることを目的に市内の芸術に関する情報を集約し、発信します。 →R2～5年度実績 - 鳥羽のアートの展示やワークショップなどを紹介する冊子「鳥羽うみアートプロジェクト」を令和2年度と令和4年度（令和3～4年度の2か年分）に発行した。 - SNSやホームページでもアートに関する取組を紹介した。						
-----------------	--	--	--	--	--	--	--

政策観光	○海の政策観光推進事業（農林水産課） 市水産研究所を中心とした政策をパッケージ化し、様々なジャンルの来訪者を受入れるための仕組みを構築します。 →R2～5年度実績 - 市水産研究所での視察等の受け入れにより来訪者を増加させるとともに、水産研究所の情報発信ツールの作成により、多くの人々が来所してもらえる情報発信に努めた。 ○政策観光（観光商工課） 市の各所属、民間事業所が行う視察受入について取りまとめ、情報発信を行うと共に有償化します。得られた歳入が対応した所属に配分される仕組みを確立することで、各々の取組みに対するモチベーション向上、今後の取組みの磨き上げを通じ、鳥羽の魅力発信に繋がります。 →R2～5年度実績 - 令和4年7月に鳥羽の民間や行政で実施している体験プログラムをSDGsの観点である「社会を支える」「経済の循環」「環境を守り、活かす」という3つの柱で整理した冊子「鳥羽のSDGs まなブック」を作成した。
スポーツ合宿誘致	○スポーツ観光推進事業（観光商工課） 鳥羽市へスポーツ合宿で訪れる団体に対して、宿泊費や地域交流活動に対して支援を行うことにより、誘客促進と鳥羽ファンの増加を図ります。 →R2～5年度実績 新型コロナウイルス感染症の拡大により申請数は少なくなったが、実績は令和2年度1件、令和3年度1件、令和4年度2件、令和5年度3件となった。
子どもの農山漁村体験	○離島の魅力向上事業（観光商工課） 鳥羽の離島の魅力をPRするため、離島ならではの体験メニューと島内の宿泊施設を連携させた離島合宿を実施します。 →R2～5年度実績 - 島内ガイドの育成や4島をつなぐ島むすび会議の開催など受入体制や連携体制の強化に継続的に努めた。 - 離島への合宿の誘致や都市部で開催されるアイランダーといったイベント等へ積極的に出向き、鳥羽の島のPRを行った。 - 令和5年度は若年者を対象にしたツアー造成を実施し、離島の魅力の開拓を行った。
受け入れ体制づくりの推進	○中心市街地の賑わいづくり・魅力創出事業（観光商工課） 鳥羽の玄関口である中心市街地の活性化や周遊促進を図るため、おもてなしの歓迎空間の創出や各店舗や各種団体と連携した周遊コンテンツを制作します。 →R2～5年度実績 令和2年度に城山公園に設置したモニュメントを活用したプロジェクションマッピング等を実施し、中心市街地の魅力創出を行うことで、中心市街地への誘客に努めた。

	- 鳥羽駅から中之郷駅周辺の中心市街地に鳥羽や海にまつわる本を読むことができる拠点として既存施設内5か所にテーマ性を持った書籍を集めて「鳥羽うみライブラリー」を設置した。 ○観光案内所運営事業（観光商工課） 観光客の利便性向上を図るため、鳥羽市や伊勢志摩地域の観光施設、交通、宿泊施設、飲食店等の案内を行うとともに外国人観光案内所としての充実を図ります。 →R2～5年度実績 - 近鉄鳥羽駅構内において鳥羽市を中心に伊勢志摩地域の観光案内を行い、来訪者の満足度向上に努めることを目的として観光案内を実施した。また、J N T OのカテゴリーⅡに認定されており、外国人観光客の来訪時に対応できるような体制を整えている。 - 来訪者人数は令和2年度 20,238 人、令和3年度 17,393 人、令和4年度は 28,679、令和5年度は 27,992 人である ○観光交通対策協議会運営（観光商工課） 市内における渋滞緩和及び観光客の利便性と満足度の向上を図るため、繁忙期における臨時駐車場の開設とシャトル船による送迎を行います。 →R2～5年度実績 - 令和2年度においては新型コロナウイルス感染症の拡大により、例年実施していたシャトルボートによるパーク&シップライドは実施せず、マリンパークにおける臨時駐車場の開設とお盆のみ鳥羽市民の森公園横の臨時駐車場を無料開放し、対応した。 - 令和3年度はお盆時期に鳥羽駅周辺で臨時駐車場を開設するなど対応し、令和4年度からは従来のパーク&シップライド方式の臨時駐車場の運営を再開するなど感染状況やフェーズに応じた交通対策を実施した。
--	--

目標指標	単位	基準値					目標値
			実績値				
宿泊者数（観光統計資料） （再掲） 【観光】	万人泊	(H30)	R2	R3	R4	R5	R6
		174.7					197.0
推定消費額（観光統計資料） （再掲）【観光】	百万円	72,253					
			48,742	38,288	59,656	71,949	

【基本目標3】誰もが活躍できるまち

ライフステージに応じた希望が叶えられ、誰もが居場所や役割を持っている

■ 方針

宿泊業を中心とした観光産業では女性が担う役割が非常に大きいことから、子育て中の女性はもちろんのこと、男女がともにいきいきと働き続けられる環境を整えることが、本市の労働力確保の視点からも重要となっています。

本市では、これまでも重点的に出産・子育て支援策を進めてきましたが、本戦略においては、仕事と子育ての両立に向けた子育て支援策を充実させることにより、“働きながら子育てをするなら鳥羽”というイメージの定着に取り組みます。

あわせて、本市で育った子どもたちが社会で活躍できるよう、子育て世帯が重視する教育環境の充実に取り組みます。

■ 数値目標

目標指標	単位	基準値	実績値					目標値
			R2	R3	R4	R5	R6	
市民が就労している割合 【農水】 (市民税所得割納税義務者数÷生産年齢(15歳～64歳)人口) (再掲)	%	(H30)						
		65						70
			69	70	70	71		
市民団体及びNPO団体登録数 【市民】	団体	82						82
			70	70	70	70		

■ 評価結果

進展度	判断理由
B	働くことを通じた活躍・つながりの促進として、趣味や特技を活かしたつながりを進めるとともに、就労や各種活動への市民参加を促すことで、つながることへの気運の醸成を図る取り組み等を幅広く展開している。 さらに、拠点整備交付金を活用した体育館サブアリーナ整備により、人口減少傾向にもかかわらず、運動施設利用者数が著しく増加しているなど、市民等の活発な活動が促進されている。 数値目標である市民の就労割合は向上し、市民団体・NPO団体数も実質維持できていることから、評価はBとする。

進展度：A-進んだ、B-ある程度進んだ、C-あまり進まなかった、D-進まなかった

■ 具体的な取り組み

3-1 結婚・出産・子育て支援

「子育てしたいまち」として本市を選んでもらえるよう、子育て支援策の充実に取り組みます。

【具体的な取り組み・施策】

子育てしやすい環境の充実	○とばっ子ハッピーセミナー事業（健康福祉課） 母親の育児負担の軽減と男性の育児参画を促すための取り組みを行います。 →R2～5年度実績 参加数 令和2年度 150人 令和3年度 157人 令和4年度 151人 令和5年度 256人 ○子育て支援センター事業（健康福祉課） 子育て中の親子が孤立することがないように、子育て中の親子の交流の場を提供するとともに、子育てに関する相談や講座などを開催します。 →R2～5年度実績 来場者数 令和2年度 2,509人 令和3年度 2,338人 令和4年度 3,316人 令和5年度 2,308人
--------------	---

目標指標	単位	基準値	実績値				目標値
			R2	R3	R4	R5	R6
子育て支援センター年間来場者数 【健康福祉】	人	(H30) 4,551	2,901	2,338	3,316	2,308	3,552

【具体的な取り組み・施策】

すべての子育て世帯に寄り添う体制の整備	○虐待防止ネットワーク事業（健康福祉課） 虐待を受けている方（児童、高齢者、障害者、DV）への迅速かつ適切な対応を行うとともに、関係機関との連携強化により虐待の未然防止に努めます。 →R2～5年度実績 相談件数 令和2年度 40件 令和3年度 24件 令和4年度 25件 令和5年度 33件 ○女性相談員設置事業（健康福祉課） DVや女性の問題等に関する相談に対応し必要な措置等の助言などを行うとともに、不安の軽減を図ります。 →R2～5年度実績 相談件数 令和2年度 131件 令和3年度 77件 令和4年度 114件
---------------------	--

	令和 5 年度 75 件 ○総合子ども相談事業（健康福祉課） 子どもの健全育成を図るため、総合子ども相談「ほっぷ」において子どもに関するあらゆる相談に対し関係機関と連携を図ります。 →R 2 ～ 5 年度実績 相談件数 令和 2 年度 468 件 令和 3 年度 815 件 令和 4 年度 931 件 令和 5 年度 821 件 ○利用者支援事業（健康福祉課） 子育て中の親子が気軽に集い、気軽に不安や悩みを相談できる場を提供します。 →R 2 ～ 5 年度実績 相談件数 令和 2 年度 217 件 令和 3 年度 123 件 令和 4 年度 220 件 令和 5 年度 144 件
--	--

目標指標	単位	基準値					目標値
			実績値				
総合子ども相談「ほっぷ」相談対応件数【健康福祉】	件	(H30)	R2	R3	R4	R5	R6
		768					650
			468	815	931	821	

3-2 教育・保育環境の充実

子育て支援策に加えて、学習環境の整備や奨学金の支援等を進めるとともに、競技スポーツで活躍できる人材を育成するなど、教育環境の充実に取り組みます。

【具体的な取り組み・施策】

中央公園一帯の整備リノベーション	○鳥羽中央公園運動施設の再整備（建設課・生涯学習課） 2021 年のとこわか国体の開催に向けて整備した市民体育館及び鳥羽中央公園の運動施設について、継続した整備を行うことにより、スポーツ環境の向上と中央公園一帯の賑わいの創出を図ります。 →R 2 ～ 5 年度実績 鳥羽中央公園運動施設の再整備を行い、利便性の向上及び中央公園一帯の賑わい創出に寄与した。 令和 2 年度：鳥羽市民体育館サブアリーナ建設 令和 3 年度：鳥羽市民体育館（メインアリーナ）床等改修工事 令和 2 ～ 5 年度：中央公園園路整備工事 令和 2 ～ 3 年度：鳥羽市民体育館駐車場等工事 令和 4 ～ 5 年度：鳥羽市民体育館浄化槽改修工事 ○市民の森公園の賑わい創出事業（建設課） 子どもと子育て世代の憩いの場である市民の森において、適切な維持管理
------------------	---

	と遊具・ベンチ等を整備することにより、再び公園に行きたくなる仕組みづくりを行い、利用者の増加を図ります。 →R2～5年度実績 - 市民の森公園の環境整備及び遊具改修・修繕を行うことで、適切な維持管理を行うことができました。 令和2年度：環境整備・遊具修繕 令和3年度：遊具修繕 令和4年度：砂場改修工事 令和5年度：本型ベンチ設置 ○運動設備の充実（生涯学習課） 芸術文化や生涯学習の拠点として活用するため、市民体育館施設の充実を図ります。 →R2～5年度実績 - 利用者の利便性の向上と利用促進のため、必要な備品を購入した。 令和2年度：サブアリーナ舞台用品・舞台幕等 令和3年度：サブアリーナ照明機器等備品 令和4年度：市民体育館オンライン設備等 令和5年度：運動施設備品購入（レスリングマット・ランニングマシン・グランドピアノ運搬車）
--	---

目標指標	単位	基準値					目標値
			実績値				
鳥羽中央公園施設利用者数 （再掲）【生涯学習】	人	(H30)	R2	R3	R4	R5	R6
		32,913					36,213
			13,151	63,072	65,421	66,266	

【具体的な取り組み・施策】

多様な保育ニーズへの対応	○保育所運営事業（健康福祉課） 近年、増えている低年齢児の保育ニーズやアレルギーを持つ児童に適切に対応するため、保育体制の充実を図り保護者が安心して働くことができる環境を整備します。 →R2～5年度実績 児童数 令和2年度 422 人 令和3年度 403 人 令和4年度 376 人 令和5年度 362 人 ○一時保育事業（健康福祉課） 保護者が就労や入院などの事情により、家庭で保育することが困難な場合に対応するため、一時的に保育を行う体制を提供します。 →R2～5年度実績 利用者数 令和2年度 130 人 令和3年度 152 人 令和4年度 174 人 令和5年度 296 人
--------------	--

	○病児・病後児保育（健康福祉課） 病気や病気回復期で保育所の通所や家庭での保育に対応するため、医療機関と連携して保育・診療・看護をトータルでケアできる病児・病後児保育体制を提供します。 →R2～5年度実績 利用者数 令和2年度 2人 令和3年度 0人 令和4年度 0人 ○放課後児童健全育成事業（健康福祉課） 保護者が昼間家庭にいない小学生を対象に、放課後等に安心して過ごせる生活の場を提供することで、自主性、社会性、創造性を向上させ児童の健全な育成を図ります。 →R2～5年度実績 登録者数 令和2年度 80人 令和3年度 75人 令和4年度 55人 令和5年度 49人
--	--

目標指標	単位	基準値					目標値	
			実績値					
保育所入所児童数（年度末） 【健康福祉】	人	(H30)	R2	R3	R4	R5	R6	
		435						374
			422	403	376	362		

【具体的な取り組み・施策】

奨学金支援	○三重大学教育学部地域推薦学生奨学金（教委総務課） 伊勢志摩地域の小学校教員の育成及び地域社会に貢献する人材を育てることを目的に奨学金制度を設けます。 →R2～5年度実績 出身学校長と市町教育長からの推薦が要件である地域推薦の受験については、制度を活用する受験者はいなかった。
学習環境の整備	○ICT教育推進事業（学校教育課） コンピュータ教育やプログラミング教育など情報処理能力や思考能力の向上を図るため、学習環境を整備し、学習活動の充実を図ります。 →R2～5年度実績 - 一人1台端末の配布に伴い、情報処理能力や思考能力の向上を図った。家庭への持ち帰りを行うことにより、家庭学習の充実を図ることができた。 ○外国語教育推進事業（学校教育課） 新学習指導要領により、小学校英語が教科化されるなど、国際的共通語として英語によるコミュニケーション能力を身につけることは、必要であり外国語教育の推進を図る必要があります。 →R2～5年度実績 - 小学校高学年を対象に、一日を英語で過ごすイングリッシュデイを鳥羽ロータリークラブの協賛を得て実施し、英語を楽しく学ぶ取組を進

	めた。 ○外国人英語指導業務委託事業（学校教育課） 外国人英語指導助手を派遣し、外国語によるコミュニケーション能力の向上と国際感覚の育成を図ります。 →R2～5年度実績 ・ A L T の派遣については、3名の配置となったことにより、一日を通して各校で過ごし児童生徒と触れ合う時間が増えたことにより、コミュニケーションを図ることができた。 ○英語検定チャレンジ事業（学校教育課） 小学6年生と中学生が公費で英語検定にチャレンジすることにより、英語を学ぶ意欲と機会の創出を行います。 →R2～5年度実績 ・ 公費による英語検定の受検に伴い、児童生徒が英語に興味を持ち、目標に向け学ぶことができた。 ○学校図書館整備事業（学校教育課） 学校図書館に司書を派遣することにより環境整備を行い、貸出冊数の増加を図るとともに、児童生徒が本を読んで内容を理解する力やまとめて書く力を高め、学校図書館を活用した授業を進めます。 →R2～5年度実績 ・ 小学校へ33日/年、中学校に16日/年配置することにより、児童生徒が本に興味を持ち、本を読む機会が増え、貸出冊数の増加を図ることができた。 ○教育支援センター事業（学校教育課） 様々な理由により不登校や学校生活に不適応な状況を示す児童生徒の自立支援を行うため教育支援センターH A R P に専任指導員を配置し、生活指導や学習支援などを進めます。 →R2～5年度実績 ・ H A R P に専任指導員を配置し、各校へ出向く等、支援体制を構築した。 ○特別支援教育支援員事業（学校教育課） 市内小中学校に在籍する様々な障がいのある児童生徒や特別な支援を必要とする児童生徒の日常活動の介助や学習活動等のサポートなど児童生徒の自立に向け支援を進めます。 →R2～5年度実績 ・ 各校に在籍する、支援が必要な児童生徒への学習指導や日常活動のサポートを行うことにより、学習環境の向上を図ることができた。					
--	---	--	--	--	--	--

目標指標	単位	基準値	実績値				目標値
			R2	R3	R4	R5	R6
児童生徒1人1台端末の整備割合 【学校教育】	%	(H30)					
		0					100
			100	100	100	100	

3-3 体験・経験型教育の推進

郷土学習の推進による地域愛の醸成、あらゆる世代が参加できる生涯学習講座による市民生活の豊かさづくり、地域に根差した市民文化祭等による社会教育成果の発表の場づくりにより、体験・経験型教育を推進します。

【具体的な取り組み・施策】

地域愛醸成	○郷土学習の推進（生涯学習課） 鳥羽の歴史文化について知識を深め、郷土を誇りに思う気持ちを育ていくため、講演会を実施します。また、子どもたちが地域学習を進めていく仕掛けとして施設・史跡見学や「とばっこ検定」を実施します。 →R2～5年度実績 令和2年度から5年度にかけて市内小学4～6年生が検定を受験し、全員合格を果たし、地域の郷土学習を推進した。
自己肯定感のある教育推進	○海洋教育推進事業（学校教育課） 活力ある学校づくりとして、海に関する施設が数多くある鳥羽の地理や風土を活かした体験学習を実施するなど、持続可能な海洋教育を実施します。 →R2～5年度実績 - 海洋教育の推進を図ることにより、海と密接に関係する本市の環境を学び、郷土愛やSDGsなど持続可能な海洋教育について学ぶことができた。 ○鳥羽が好きふるさと給食（学校教育課） 地域の食材を使い、生産者の思いを食育の授業を通してまなび、食の大切さや地域愛の醸成を図ります。 →R2～5年度実績 - 平成30年度から実施し、鳥羽の豊かな食材を給食に取り入れ、食の大切さや生産者の思いを伝える取り組みを行うことにより、郷土愛の醸成を図ることができた。 ○人権教育推進事業（学校教育課） 人権フォーラムの開催など、多様性や個性を尊重できる取り組みを進めます。 →R2～5年度実績 - 小中人権フォーラムを実施し、自分の願いや思いを主体的に発表しあうことで、豊かな出会いと発見の場を作るとともに、他校の児童生徒との話し合いや意見交流によって、あらゆる人権問題についての認識を深めることができた。

目標指標	単位	基準値	実績値				目標値
			R2	R3	R4	R5	R6
とばっこ検定受検児童の合格率 【生涯学習】	%	(H30)					
		100					90
			100	100	100	100	

【具体的な取り組み・施策】

市民生活の豊かさづくり、社会教育成果の発表	○生涯学習講座の開催（生涯学習課） あらゆる世代が生涯を通じて新たなスキルの獲得や興味関心の幅を広げる知識の習得に努め、生活に潤いを感じられるよう、多様な講座を開催します。 →R2～5年度実績 - 令和2年度は定期講座3講座、特別講座1講座を開催し延べ88人の参加があった。 - 令和3年度からは鳥羽市運動施設指定管理者に事業を委託し、生涯学習講座13講座を開催し、延べ871人の参加があった。 - 令和4年度は生涯学習講座15講座を開催し、延べ1,266人（2月末現在）の参加があった。 - 生涯学習特別講座としてSNSを活用したワークショップを行い、延べ48人の参加があった。 - 令和5年度は生涯学習講座18講座を開催し、延べ2,130人の参加があった。 ○市民文化祭の開催（生涯学習課） 市内の社会教育団体等が日頃、生き生きと取り組んでいる練習の成果を発表する中で、市民が皆で文化・芸術を楽しみ、生活を豊かにする機会を創出する。 →R2～5年度実績 - 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で令和2年度から4年度まで市民文化祭は中止となったが、令和5年度は4年ぶりに開催することができ、2日間で640名の来場を得た。
-----------------------	---

目標指標	単位	基準値					目標値
			実績値				
生涯学習講座受講後アンケートでの充実実感割合 【生涯学習】	%	(H30)	R2	R3	R4	R5	R6
		96					90
		96	—	96	—		

3-4 SDGs 誰ひとり取り残さないまちの実現

持続可能な開発目標（SDGs）に設定されている17の目標と169のターゲットを意識した行政運営により、誰ひとり取り残さないまちの実現を目指し、広範な行政課題に統合的に取り組みます。

【具体的な取り組み・施策】

とばびと活躍	○とばびと生涯活躍マネジメント ～依存から共生へ～（企画財政課） 市民の支え合う力を再構築しながら、活躍したい、活躍できる民間企業や個人を支援し、活力あるまちとすることを目指します。 →R2～5年度実績 地方創生交付金等の活用により、働くことを通じた活躍・つながりの促進として、趣味や特技を活かしたつながりを進めるとともに、つな
--------	---

	がることへの気運の醸成を図る取り組み等を幅広く展開し、就労や各種活動への市民のさらなる参加を促した。						
目標指標	単位	基準値					目標値
			実績値				
市民が就労している割合 （市民税所得割納税義務者÷生産年齢（15歳～64歳）人口） （再掲）【農水】	%	(H30)	R2	R3	R4	R5	R6
		65					70
			69	84	83	83	

【具体的な取り組み・施策】

水産研究所を核とした鳥羽うみ再生	○藻類研究を核とした多分野連携（農林水産課） 藻類を中心とした水産振興の拠点としての役割に加え、教育分野・環境分野・関係人口創出・働く場の創出等、多分野連携による市水産研究所の機能強化を図ります。 →R2～5年度実績 学校の授業や視察等の受け入れ、出前授業の実施等により、多分野連携を強化し、水産研究所の情報発信ツールの作成など、多くの人々が来所してもらい、より理解を深めてもらえるような情報発信に努めた。観光商工課とも連携して、海外への鳥羽の海や海藻の発信も行い、多分野連携に繋がった。
	○水産研究所と連携した観光振興（観光商工課） 海藻類を中心とした水産研究所は、研究員のアカデミックな知識等を学習できたり、海藻を中心とした海の魅力を体感できる拠点として観光面においても魅力があることから、観光振興と連携した事業を展開することにより情報発信や新たな拠点としての活用を図ります。 →R2～5年度実績 - 漁業と観光連携促進事業において、水産研究所と連携し、海藻など海の生物のモニタリング調査を実施したり、新たなブランド魚の開拓に向けて連携し、調査を行った。 - 令和3年度・令和4年度には、フランス自治体との交流の中で、市の水産研究に関することをテーマとした意見交換や情報提供を行った。 - 令和5年度はフランス・セットで開催された地中海沿岸最大の海洋祭りのエスカル・ア・セットに参加し、水産研究所の協力のもと現地で海藻に関するワークショップを実施した。

目標指標	単位	基準値					目標値	
			実績値					
藻類を中心とした種苗販売額 【農水】	千円	(H30)	R2	R3	R4	R5	R6	
		2, 904						4, 064
			2, 494	1, 702	1, 172	1, 271		

【具体的な取り組み・施策】

生涯活躍のまち	○地域のしごと魅力発信事業（観光商工課）※再掲 ハローワーク伊勢と連携し、無料職業紹介所で相談員が求職者の希望や特性を生かした勤務先をフルタイムやパート、プチ勤務等で紹介するほか、幅広い年齢層等（高齢者、子育て世代、地元高校生等）の雇用確保に努めます。 →R2～5年度実績 - 無料職業紹介所を訪れる求職者に対し、ハローワークと連携し、多様な求人情報の提供を行った。相談件数の増加により、令和5年度から週3に開設日を増やして対応した。 - 福祉分野との連携と利便性の向上を図るため、市役所西庁舎のほか、令和3年後半から令和4年度は月2回、令和5年度から月1回保健福祉センターひだまりで開設した。 - 令和4年8月から利用者の拡大を図るため、広報やフェイスブックによる情報発信を行った。
---------	---

目標指標	単位	基準値					目標値
			実績値				
無料職業紹介所に求職登録された方のうち就職された人数 （計画期間の延べ人数） （再掲）【農水】	人	(H30)	R2	R3	R4	R5	R6
		8					40
			9	18	27	10	

【基本目標 4】地域経営の視点に立ち、時代に合ったまちづくり、 安心した暮らしの確保

鳥羽の風土に応じた安心できる暮らしが守られている

■ 方針

山と海に囲まれた本市には、人口の約 2 割が暮らす離島があり、また、市街地から離れた交通利便性の悪い地域が多数あり、これらの地域では、他と比べて高齢化率が高く、地域のにぎわいが失われつつあります。漁業従事者の多くが、これらの離島や、市街地から遠く離れた南鳥羽地域の沿岸部に暮らしています。

鳥羽市を訪れる観光客の目的は「美味しい魚介類を食べること」にあり、豊潤な海で育つ水産物を観光客に提供し続けるため、漁業の振興に努めなくてはなりません。

本市の観光産業の一翼を担う漁業を維持していくため、また、住みなれた地域で今後も安心して生活していくため、既存集落を中心とした交通環境の整備や地域の賑わい創出等、日常の暮らしの利便性を確保するとともに、市全域で新エネルギーの創出・活用に取り組み、時代に合ったまちづくりを推進します。

また、離島や沿岸部においては、観光施設や宿泊施設が多数立地しており、観光客が多く訪れる地域となっていますが、津波による 5 m 以上の浸水予測がなされているだけでなく、台風襲来時期等、高潮による被害が発生する地域でもあります。そのため、市民の生命や財産を守ることはもちろんのこと、観光客も含めた総合的な防災対策に向けて、関係団体が連携して取り組みます。

■ 数値目標

目標指標	単位	基準値	実績値					目標値
			R2	R3	R4	R5	R6	
鳥羽市が「住みやすい」「まあ住みやすい」と思う市民の割合 (市民アンケート)【企画財政】	%	(H30)						
		66.1						81.1
			69.6	57.2	55.5	58.5		

■ 評価結果

進展度	判断理由
C	環境に配慮したまちづくりの推進や防災対策の充実に取り組むとともに、交通環境の維持や地域の賑わい創出等、日常の暮らしの利便性向上に取り組まれている。 しかしながら、公共施設の見直し・活用等、確保等や地域の見守りを行う地域福祉推進員の配置、空き家対策等の進捗が低く、市民アンケートの結果から見ても、地域経営の視点に立った安心した暮らし・利便性の確保については、大きな進捗があったとはいえず、評価は C とする。

進展度：A-進んだ、B-ある程度進んだ、C-あまり進まなかった、D-進まなかった

■ 具体的な取り組み

4-1 防災対策の充実

伊勢志摩の宿泊拠点でもあることから、災害発生時には、市民だけでなく、観光客の生命を守るため、観光事業者が連携した観光地の防災対策に取り組むとともに、地域での自主防災倉庫等の整備を支援します。

【具体的な取り組み・施策】

防災体制・防災活動の強化	○自主防災倉庫等設置補助（総務課） 地域における防災体制を強化するため、自主防災倉庫及び災害時に必要となる資機材の充実を図ります。 →R2～5年度実績 ・ 延べ34町内会・自治会に補助を行った。 ○自主防災活動補助金（総務課） 地域における防災活動を強化するため、自主防災組織等が実施する自主防災活動の充実を図ります。 →R2～5年度実績 ・ 延べ17町内会・自治会に補助を行った。 ・
市民・来訪者の防災対策	○防災無線のデジタル化を含めた多機能化（総務課） 現在の同報系防災行政無線を更新するとともに、メール連携や、J-ALERT以外にも情報の多重化を図ることにより総合的なシステムを整備し、市民・観光客への安心・安全対策を図ります。 →R2～5年度実績 ・ 同報系防災行政無線デジタルと連携したメールやSNSなど、情報発信の多重化を図った。 ○帰宅困難者対策事業（観光商工課） 災害発生時における観光客等の帰宅困難者の受入を進めるため、観光団体と連携した協力体制の構築などに取り組みます。 →R2～5年度実績 ・ 令和4年度には総務課防災危機管理室と連携し、観光×防災×地域分野を超えたつながる研修交流会の開催や事業者向けのBCP策定の説明会を開催した。 ・ 令和5年1月の大雪時には、観光協会と連携し情報収集と情報発信を行い、観光客の安全安心のため取り組んだ。 ・ 令和5年6月に「災害時等における宿泊施設等の提供に係る協定書」を締結した。 ○観光事業者向け避難訓練実施（観光商工課） 観光事業者の防災意識向上を図り、安心・安全な観光地づくりを目指すため、観光事業者等と連携した防災訓練を実施します。 →R2～5年度実績 ・ 令和4年度には総務課防災危機管理室と連携し、観光×防災×地域分野を超えたつながる研修交流会の開催や事業者向けのBCP策定の説明会を開催した。

目標指標	単位	基準値					目標値	
			実績値					
自主防災組織等の活動回数 【総務】	回	(H30)	R2	R3	R4	R5	R6	
		80						90
			53	58	81	80		

4-2 スポーツ・健康まちづくり推進

住民が健康で元気に幸せに暮らせるよう健康寿命の延伸を目指し、ライフステージに応じたスポーツ機会を創造するとともに、健康まちづくりを推進します。

【具体的な取り組み・施策】

中央公園一帯のリノベーション	○体育館パンフレット作成事業（建設課） スポーツ・健康づくり・文化芸術・誘客施策など、多角的な利用が出来る体育館（メインアリーナ・サブアリーナ）のパンフレットを作成し、周知することにより、施設の稼働率向上と利用者増を図ります。 →R2～5年度実績 - 観光課や運動施設指定管理者がパンフレットを作成するため、掲載内容等について協議することができた。 ○中央公園一帯に係るホームページ作成事業（建設課・生涯学習課） 市民や観光客など中央公園一帯を訪れる人に、分かりやすい情報提供を行うため、ホームページを作成し、情報発信することにより、利用者の増加を目指します。 →R2～5年度実績 - 運動施設の指定管理者により施設のホームページを作成し、施設の利用状況やイベント開催予定などを公開し、利用者の増加に努めた。また、SNSも活用しながら情報提供を行った。 ○中央公園施設予約ツール構築事業（建設課・生涯学習課） 中央公園の各運動施設における予約受付について、スマートフォンを使った予約システムを構築することにより、利便性の向上を図り、施設の利用者増を目指します。 →R2～5年度実績 - 指定管理者のホームページにより、施設の予約状況を確認できるように行った。予約システムの導入について公共施設全体で考える必要があるため、システムの構築には至らなかった。 ○健康アプリ開発事業（健康福祉課） 中央公園一帯において、健康増進や歩く楽しみの仕掛けづくりなどを生むため、健康アプリを商船学校・メーカーと共に開発し、健康について身近に感じてもらうことにより、スポーツ・健康まちづくりを推進します。 →R2～5年度実績 - 健康づくりにおける個人の取組の動機づけと社会全体でその取組の継続を支える環境づくりを行うため、情報発信を行うツールとして「鳥羽市健康マイレージ公式アカウント」を開設し、運用を開始した。 ○運動施設の指定管理（生涯学習課） 令和2年度にサブアリーナを新設し、市民の健康増進に寄与する施策を包括的に展開するため、中央公園運動施設の指定管理を実施します。
----------------	--

	→R 2～5 年度実績 - 令和 3 年度から 1 年間、令和 4 年度から 3 年間の指定管理選定を公募で行い、三幸株式会社が選定された。市の施策等を踏まえて様々な事業を展開し、利用者増加に努めることができた。 ○全日本選手権大会の開催（生涯学習課） 令和 2 年度に国民体育大会のリハーサル大会として全日本フェンシング選手権大会を開催し、競技に対する理解を深め、スポーツに触れる機会を創出します。 →R 2～5 年度実績 - 新型コロナウイルス感染症感染拡大により、三重とこわか国体が中止となったが、そのレガシーを活用し、令和 4 年度より、本市において新たにフェンシング大会を開催。フェンシング競技の普及発展・フェンサーの育成を図るとともに、フェンシング競技に興味関心を持つ機会提供としてチャンバラフェンシングを開催し、競技人口の拡大を図った。 - 令和 2 年度：全日本フェンシング選手権大会中止 - 令和 3 年度：三重とこわか国体中止 - 東京 2020 オリンピックフェンシング競技・男子団エペで本市出身の山田優選手が金メダル獲得によるイベント開催 - 令和 4 年度：鳥羽市民栄養賞受賞記念 山田優杯 - 鳥羽・エペフェンシング大会を開催 - 令和 5 年度：山田優杯鳥羽・エペフェンシング大会を開催 ○中央公園を拠点とした海辺のまち鳥羽ランニング（観光商工課） 中央公園をランニングやウォーキングの拠点や目的地として位置付け、宿泊者などの観光客が海辺の鳥羽ならではの景色や潮風を感じることができるルートとして紹介します。 →R 2～5 年度実績 - ランニングルートとしては紹介していないものの、令和 2 年度より鳥羽市民の森公園の象徴である巨大公園遊具ガリバーを様々な切り口から紹介する SNS を実施し、顕在化することで週刊誌やテレビなどのメディアの露出につながり、誘客促進と周遊促進を行った。
--	---

目標指標	単位	基準値	実績値				目標値
			R2	R3	R4	R5	R6
鳥羽中央公園施設利用者数 （再掲）【生涯学習】	人	(H30)	R2	R3	R4	R5	R6
		32,913					36,213
			13,151	63,072	65,421	66,266	

【具体的な取り組み・施策】

持続可能な介護保険制度の推進	○介護予防と自立支援に向けた取り組み（健康福祉課） 理学療法士が介護保険サービス事業所や住民の通いの場等を訪問し指導を行うことで、地域における介護予防の取組の強化を図ります。また、自立支援型地域ケア会議を開催し、多職種の専門的な視点に基づく助言を通じ、ケアマネジャーに自立に資するケアマネジメントの意識付けを図ります。 →R 2～5 年度実績
----------------	--

	・ 自立支援型地域ケア会議を開催することで、民間のケアマネジャーに対し自立に向けたケアプランの意識づけを図ることができた。 令和2年度：7回 令和3年度：4回 令和4年度：9回 令和5年度：6回							
目標指標	単位	基準値					目標値	
			実績値					
65 歳以上高齢者に占める要介護・ 要支援認定者割合【健康福祉】	%	(H30)	R2	R3	R4	R5	R6	
		20.1						18.0
			19.4	19.1	19.1	19.5		

4-3 コミュニティ形成・強化・充実

市民一人ひとりが何を助け合えるか、市民が考える力を身に付けることへの支援を行うことにより、自分たちで何ができるのかを考え、創出する機会を増やし、コミュニティ形成・強化・充実を図るとともに、自助・互助への意識向上を図ります。

【具体的な取り組み・施策】

地域力の強化・推進	○地域力強化推進事業（健康福祉課） 地域の困りごとを自らの課題（我が事）として主体的にとらえ、市民自らが課題の解決に向けて取り組むための意識醸成を行いながら、地域における支え合いの中心となる方の育成を行います。 →R2～5年度実績 ・ まちトーク実施件数 令和２年度：４件 令和３年度：１件 令和４年度：７件 令和５年度：１１件						
-----------	---	--	--	--	--	--	--

目標指標	単位	基準値	実績値					目標値
			R2	R3	R4	R5	R6	
地域福祉推進員数（各自治会２名）【健康福祉】	人	(H30)						
		34						92
			30	33	31	32		

【具体的な取り組み・施策】

移動手段・公共交通対策	○地域公共交通の維持・確保（企画財政課・定期船課） 自らの交通手段を持たない方や観光客の移動手段の確保・維持を図るため、地域特性にあった地域公共交通のあり方を検討するとともに、鳥羽市地域公共交通網形成計画の取組方針に沿った施策の展開を推進します。 →R2～5年度実績 ・ 令和２年度に「地域公共交通計画」を策定した。計画に沿って、市民の移動や観光客等の周遊の円滑化に向けた事業を位置づけるとともに、						
-------------	---	--	--	--	--	--	--

	今後の人口減少を見据えた公共交通のあり方について検討を行った。 ・ 地域公共交通の利用促進を図るため、グーグルマップで路線検索が可能となる「時刻表の見える化」に対応し、外国人旅行者にも利用しやすい環境を整えた。 ・ デジタルきっぷを販売、かもめバスのキャッシュレス決済導入、ダイヤ改正等を行い、利用者の利便性の向上を図った。 ・ かもめバスの乗り方教室の開催などを通じ、公共交通に親しみを感じてもらうことで利用促進を図った。
--	---

目 標 指 標	単 位	基 準 値					目 標 値
			実 績 値				
かもめバス乗車人数 【定期船】	人	(H30)	R2	R3	R4	R5	R6
		217, 131					204, 000
		142, 489	151, 232	173, 225	185, 972		
市営定期航路乗船人数 【定期船】	人	685, 405					648, 000
		538, 211	543, 875	570, 818	583, 041		

【具体的な取り組み・施策】

市民協働	○協働意識の向上に向けた情報発信（市民課） 多くの市民が、得意とする分野を生かした活動が行えるように、市民活動団体の情報を各地域へ提供し、交流・連携を深める環境づくりに取り組みます。 →R2～5年度実績 ・ 令和2年度は、地域のためにがんばる団体応援事業として、身近な地域の課題解決や地域に元気を作りだそうという思いを強く抱いている住民や団体等の活動に対して経費の一部を補助し、自主的・主体的な取組を応援して市民参画を推進した。 ・ 令和3年度は、協働のための人材育成事業として、ボードゲームを通してまちづくりを学ぶ市民活動交流会を開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止した。 ・ 令和4年度は、協働のための人材育成事業として、市民協働によるまちづくりを推進するためのきっかけづくりとして、将来のまちづくりを担う市内小中学生を対象に、みんなで協力してゴールを目指すサッカーを通じて、協働を学ぶだけでなく、健康の保持や増進を図った。 ・ 3年を通して、市民活動団体向け、将来のまちづくりを担う小中学生向けと様々な視点から市民が輝けるよう事業を行ったことで、協働の意識は高めることができた。
------	---

目標指標	単位	基準値					目標値	
			実績値					
市民団体及び NPO 団体登録数 (再掲)【市民】	団体	(H30)	R2	R3	R4	R5	R6	
		82						82
			70	70	70	70		

【具体的な取り組み・施策】

地域おこし協力隊	○地域おこし協力隊支援事業（企画財政課） 都市部から移住し、地域活性化等の業務に従事する地域おこし協力隊を募集し、新規着任隊員を獲得します。 →R2～5年度実績 - 令和3年度に地域プロモーション（鳥羽なかまちに2名、離島振興（菅島）1名、令和4年度に離島振興（答志和具）1名、農業振興（JA）1名、令和5年度に離島振興（答志和具）1名を配置した。 - 令和4年度から地域おこし協力隊インターンを実施し、令和4年度に8名、令和5年度に10名が参加した。またインターン参加者から3名が新規隊員となった。 ○地域おこし協力隊事業（企画財政課） 各地域における課題の対策やにぎわいを作るため、住民の方と議論を重ね、地域の実情に応じた対策を図ります。 →R2～5年度実績 - 地域の方からの要望などを聞き取りし、地域が取り組みたい事と地域おこし協力隊に何をして欲しいかを整理し、配属先の調整を行った。					
----------	---	--	--	--	--	--

目標指標	単位	基準値	実績値				目標値
			R2	R3	R4	R5	R6
地域おこし協力隊退任後の定住数 【企画財政】	人	(H30)	R2	R3	R4	R5	R6
		2					7
			1	1	1	2	

4-4 地域資源の高付加価値化、新しい価値の創生

地域資源を活用した持続的な新しいシステムの構築に取り組むとともに、独自の魅力ある地域資源の高付加価値化を目指します。また、地域資源の新しい価値を創り出すための取り組みを推進します。

【具体的な取り組み・施策】

空き家対策	○管理不全空き家対策事業（建設課） 空き家対策の方針を定める「鳥羽市空き家対策計画」を策定して国の交付金などを活用し、空き家にしない取り組みや管理不全空き家の解消を図っていきます。 →R2～5年度実績 - 空き家を抑制するため、建物所有者に対し、啓発チラシを送付した。 - 管理不全空き家として56件の通報があり、所有者調査を行い、助言等を行った結果、うち19件について、解消された。					
-------	---	--	--	--	--	--

目標指標	単位	基準値	実績値				目標値
			R2	R3	R4	R5	R6
管理不全空き家通報件数 【建設】	件	(H30)	R2	R3	R4	R5	R6
		13					5
			8	12	15	21	

【具体的な取り組み・施策】

公共施設見直し活用	○公共施設等総合管理推進事業（企画財政課） 公共施設等総合管理計画に基づき、公共施設の適切で効率的な管理・運営を実践します。また、公共施設総合管理計画を踏まえ、個別施設の管理計画を順次策定します。 →R2～5年度実績 ・老朽施設を中心に、施設統廃合を2件、機能集約3件を行うなど、公共施設の配置適正化に努めた。 ・次代への負担を軽くするため公共施設は縮小していく必要があることから、役割を終えた公共施設の除却等に活用できる新たな基金を創設した。 ・個別施設計画については、庁舎等の公用施設や多数ある小規模な集会施設は一部策定できていないものがある。
地域資源のシェアリングリノベーション	○公有財産の利活用の推進（企画財政課） 学校施設等の共同利用など地域資源活性化のために公有財産のシェアリングを進めるとともに、様々な公共の移動手段の相互利用化を進めることによりシェアリングリノベーションを図ります。 →R2～5年度実績 ・旧小浜小学校に三重大学伊勢志摩サテライト伊勢志摩産業振興教育研究センターを併設するとともに、学生の宿泊スペースとしてシェアリングすることで海洋教育・研究の連携を図った。 ・移動手段については、医療移送車両を学童送迎に活用を行っている例はあるものの、新たな移送手段でのシェアリングの展開はない。

目標指標	単位	基準値	実績値				目標値
			R2	R3	R4	R5	R6
各公共施設の管理計画の策定率 【企画財政】	%	(H30)					
		0					100
			31.3	31.1	40.4	40.4	

4-5 環境に配慮した持続可能なまちづくり推進

生ごみの堆肥化や生ごみ堆肥を利用した有機野菜栽培促進の取り組み、リサイクルごみの収集、廃食油を利用した石けんづくり等の環境講座の開催等、環境に配慮した持続可能なまちづくりを推進します。

【具体的な取り組み・施策】

循環型社会の実現	○鳥羽市リサイクルパークの運営（環境課） 生ごみの堆肥化や資源ごみのリサイクルに対する意識を高めるとともに地域の活性化を図るため、リサイクルパークを運営します。 →R2～5年度実績 ・「ひなたぼっこ」を使って1次処理した家庭の生ごみを堆肥化し、可燃ごみとして捨てられてしまう生ごみを堆肥として再利用することで、再資源化とともにごみの減量につなげた。
----------	---

目標指標	単位	基準値					目標値
			実績値				
鳥羽市リサイクルパーク利用者数 【環境】	人	(H30)	R2	R3	R4	R5	R6
		22, 041					
			27, 394	23, 717	24, 291	24, 736	

4-6 Society5.0 新技術の活用（再掲）

第5期科学技術基本計画において国が目指すべき未来社会の姿として提唱された Society5.0 の実現を目指し、新技術や新しい時代の流れを力にし、経済発展と社会的問題の解決を両立していく新たな社会の実現に資する取り組みを推進します。

【具体的な取り組み・施策】

大学・企業との連携	○海洋アライアンス構築事業（農林水産課） 大学や研究機関、民間博物館等の関係者間により海洋アライアンスを構築し、持続可能な水産振興策を見出していきます。 →R2～5年度実績 - 令和4年度に、三重大学、鳥羽商船高等専門学校、(株)鳥羽水族館、三重県水産研究所、水産研究・教育機構水産技術研究所、名古屋大学臨海実験所、ミキモトグループ（(株)ミキモト、(株)御木本真珠島、御木本製薬(株)）と伊勢志摩地域における海洋・水産に係わる教育活動、研究活動及び地域連携活動を推進し、これらの活動を通して地域社会の発展に寄与することを目的とした地域連携プラットフォーム「伊勢志摩海洋教育研究アライアンス」を構築した。 ○民間企業連携事業（観光課）※再掲 大学や民間企業の技術や情報発信ツールを活用した誘客事業を展開します。 →R2～5年度実績 - 令和4年7月には國學院大學との協定締結をきっかけに第二次鳥羽市観光基本計画に沿った調査を実施した。 - 令和4年度の新規事業として鳥羽を大学生や大学等の学びのフィールドにしてもらうきっかけとしての補助メニューとして「大学ゼミ補助金」「地域課題解決調査研究事業補助金」を新設し、支援した。
マリン IT	○海洋環境モニタリング事業（農林水産課）※再掲 ICT を活用した観測ブイ等を設置することで、漁業者や関係者がリアルタイムに情報を入手できる仕組みを構築します。 →R2～5年度実績 海洋環境の変化等を漁業者がリアルタイムに確認できるよう、ICT を活用した漁業用観測機器を市内漁場への導入を支援した。
ICT・AI 活用による生産性向上	○中小企業支援事業（観光商工課）※再掲 ICT・AI を活用した生産性を向上させるため、セミナーや意識啓発等の取組を支援します。 →R2～5年度実績 鳥羽商工会議所にサービス産業生産性向上支援事業補助金を交付し、中小企業の実産性向上に寄与した。

目標指標	単位	基準値					目標値
			実績値				
海洋アライアンス構築事業数 (計画期間の延べ事業数) [農水] (再掲)	事業	(H30)	R2	R3	R4	R5	R6
		0					
			1	0	7	7	

【基本目標 5】連携施策等

地域の実情に合わせた施策が取り組まれている

■ 方針

共通目的を有する関係自治体等とともに実施することで相乗効果をもたらす取り組みは、連携して取り組みます。

また、地域の実情に合わせた施策を展開するために、国家戦略特区や国土強靱化計画等を推進します。

■ 数値目標

目標指標	単位	基準値					目標値
			実績値				
伊勢志摩定住自立圏取組項目数 【企画財政】	項目	(H30)	R2	R3	R4	R5	R6
		31					36
			32	32	32	34	

■ 評価結果

進展度	判断理由
C	伊勢志摩定住自立圏を通じた取り組みの推進を行うことで、地域間連携による広域的な取り組みに一定取り組むことができたものの、方針に掲げる国家戦略特区に関しての具体取組は実施できず、具体施策として掲げた公共交通の維持確保はコロナ禍の影響を受けて、目標値には届いておらず、評価はCとする。

進展度：A-進んだ、B-ある程度進んだ、C-あまり進まなかった、D-進まなかった

■ 具体的な取り組み

5-1 国家戦略特区の推進

国家戦略特区制度は、成長戦略の実現に必要な、大胆な規制・制度改革を実行し、「世界で一番ビジネスがしやすい環境」を創出することを目的に創設されました。

経済社会情勢の変化の中で、自治体や事業者が創意工夫を生かした取組を行う上で障害となってきたにもかかわらず、長年にわたり改革ができていない「岩盤規制」について、規制の特例措置の整備や関連する諸制度の改革等を、総合的かつ集中的に実施するため、国家戦略特区制度の活用を推進します。

【具体的な取り組み・施策】

移動手段・公共交通対策	○地域公共交通の維持・確保（企画財政課・定期船課）※再掲 自らの交通手段を持たない方や観光客の移動手段の確保・維持を図るため、地域特性にあった地域公共交通のあり方を検討するとともに、鳥羽市地域公
-------------	--

	公共交通網形成計画の取組方針に沿った施策の展開を推進します。 →R2～5年度実績 - 令和2年度に「地域公共交通計画」を策定した。計画に沿って、市民の移動や観光客等の周遊の円滑化に向けた事業を位置づけるとともに、今後の人口減少を見据えた公共交通のあり方について検討を行った。 - 地域公共交通の利用促進を図るため、グーグルマップで路線検索が可能となる「時刻表の見える化」に対応し、外国人旅行者にも利用しやすい環境を整えた。 - デジタルきっぷを販売、かもめバスのキャッシュレス決済導入、ダイヤ改正等を行い、利用者の利便性の向上を図った。 - かもめバスの乗り方教室の開催などを通じ、公共交通に親しみを感じてもらうことで利用促進を図った。					
--	--	--	--	--	--	--

目標指標	単位	基準値	実績値				目標値
			R2	R3	R4	R5	R6
かもめバス乗車人数【定期船】 (再掲)	人	(H30) 217,131					204,000
			142,489	151,232	173,225	185,972	
市営定期航路乗船人数【定期船】 (再掲)	人	685,405					648,000
			538,211	543,875	570,818	583,041	

5-2 国土強靱化計画の策定・推進

地域の強靱化に関する各分野別計画の指針として、国土強靱化基本法（第13条）に基づく地域強靱化計画を策定し、国土強靱化に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図ります。

【具体的な取り組み・施策】

国土強靱化計画の策定・推進	○国土強靱化地域計画の策定・推進（企画財政課） 国土強靱化基本計画に基づき、大規模自然災害等に対する事前防災及び減災の取り組みを進めるため、鳥羽市国土強靱化地域計画を策定します。また、鳥羽市国土強靱化地域計画の取組方針に沿った施策の展開を推進します。 →R2～5年度実績 - 令和3年度、国土強靱化地域計画を策定した。 - 計画に定める事前に備えるべき7つの目標に沿って、市総合計画の施策目標ごとに紐づけられる施策の展開に基づき、事業を推進した。					
---------------	--	--	--	--	--	--

目標指標	単位	基準値	実績値				目標値
			R2	R3	R4	R5	R6
鳥羽市国土強靱化地域計画の施策の進捗度合【企画財政】	%	(H30) 0		スタート			100
			0	19.6	36.3	47.1	